

# 我が国の住宅生産技術の東南アジア等普及のための 情報基盤整備に関する研究(1)



独立行政法人 建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員 小野 久美子

## 1. 研究の背景

### 【我が国の現状】

- ・住宅の余剰ストック
- ・今後の住宅市場の縮小

### ○高い住宅生産技術

大量供給対応：プレハブ住宅、建材・設備の部品化技術

○自然災害に強い住宅・エネルギー効率良

○バリアフリー／ユニバーサルデザイン定着



<pic.1>



<pic.2>

### 【東南アジア諸国の現状】

- ・人口増加
- ・住生活水準・質の向上が課題

## 我が国の住宅技術の普及・定着

### 【我が国】

○国策としてのものづくり産業、建設業の海外展開

○市場拡大 ○現地の住宅生産技術の適正化

○新たな技術開発



<pic.3>



<pic.4>

### 【東南アジア諸国】

○住生活の水準・質の向上

○内需産業の発展

## 2. 研究の目的・概要

- ・わが国の住宅生産技術の東南アジア等諸国への普及を支援
- ・**住宅生産関連事業者**にとって必要な基本的な考え方や戦略、共有技術情報の体系・枠組みを構築
- ・事例調査等より、対象とする国（タイ・インドネシア、マレーシア等を想定）についての情報を収集・整理
- ・対象とする国についての共有技術情報を事例的に解説した情報基盤を整備

### 【海外展開に向けて必須かつ共有化可能な情報】

- ・規制、税制、パテント等の**社会システムに関する情報**
- ・住宅の品質確保方策を立てる上で必要な**住宅生産システムに関する情報**
- ・住宅要求性能を設定する上で必要な**住まい手ニーズに関する情報** 等

写真： <pic.1> 街並み俯瞰(タイ) <pic.2> 住宅建設現場(インドネシア) <pic.3>モデル住宅(タイ)  
<pic.4>日系ハウスメーカーによる住宅(タイ) <pic.5>ジャカルタ北部住宅街(インドネシア)

# 我が国の住宅生産技術の東南アジア等普及のための 情報基盤整備に関する研究(2)



独立行政法人 建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員 小野 久美子

## 3. 研究開発の具体的計画

### (1) 住宅生産技術の海外 進出事例の収集・整理

現地に設置した営業拠点・生産設備等の  
状況、生産システムの親和性等調査

### (2) 住宅及び生産システムに 関する実態調査

社会制度・慣習に関する情報、既存の施  
工・生産体制に関する情報等

### (3) 住まい手側のニーズ及び 住宅の性能に関する実態調査

住まい手が住宅に求める性能、住生活ス  
タイル、市場動向等

### (4) わが国の住宅生産技術の国際 化支援のための情報基盤整備支援

上記(1)～(3)の調査で得られた情  
報をとりまとめ整理、解説

## 4. 研究成果およびアウトプット

### 情報基盤の整備：

東南アジア等の住生活向上および我が国の住宅生産技術の国際化支援を目的

- \* 住宅生産関連事業者が事業展開する上で共有可能な、地域性を配慮した技術基盤情報（共有技術情報）の体系整理
- \* 対象国とする国についての情報の提示と解説

## 5. 研究開発の実施状況

\* 研究開発期間：平成26～27年度 \*

**国内ヒアリングの実施：**ハウスメーカー、建設資材関連企業、公的機関等

### 現地調査の実施：

- ①タイ王国：内務省、住宅公社、政府住宅銀行、有識者（タマサート大、カセサート大）、大手ディベロッパー、日系企業等へのヒアリング、現地視察等
- ②インドネシア共和国：公共事業・国民住宅省、人間居住研究所等へのヒアリング、現地視察等



<pic.5>

### 情報基盤の内容<検討中>

- \* 社会システムに関する情報 \* 法律、建築許可、構造安全等への対応、検査制度、住宅供給政策、都市計画、規格制度、金融制度、登記のしくみ 等
- \* 住宅生産システムに関する情報 \* 社会ニーズの高い技術、現地生産者情報（ディベロッパー、ゼネコン、建設資材メーカー等）、資材調達状況 等
- \* 住まい手ニーズに関する情報 \* 消費者ニーズ・嗜好、住宅価格 等